



地域の絆深める

11/21 お茶の間会女性部のフェルトバッグ作り

お茶の間会女性部（松下君代会長）は、上沖洲公民館で「フェルトバッグ作り」を開催しました。

この日は、日吉雪子さん（喫茶「しなぶす」）を講師に迎え、22人の参加があり、大いに賑わいをみせました。

参加者たちは、色とりどりのフェルトを使って個性豊かなバッグを作り上げ、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。また、日吉さんの丁寧な指導により、初心者でも安心して取り組むことができました。

主催者の古川幸子さん（上沖洲区）は、「老人会が無くなっている中、このような会ができ、多くの皆さんに参加していただきとてもうれしいです」と話しました。



▲完成品を手に笑顔の皆さん



地域の伝統文化に触れる

12/13 腹赤小学校で神楽体験学習

清源寺神楽保存会（田上正二会長）は、腹赤小学校（左村良一校長）の3年生を対象に清源寺神楽体験学習を行いました。

この日は、まず紙芝居で清源寺神楽の発祥や歴史について学び、その後、同学年の山城剛さん（腹赤区）が清源寺神楽保存会のメンバーとともに神楽を披露しました。披露後、3つのグループに分かれて実際に神楽を体験しました。

山城さんは、「間違いがあつたけど、楽しくできた。これからも続けたい」と話していました。また、参加した児童たちも、初めての神楽体験を楽しんでいました。



▲児童の前で神楽を披露する清源寺神楽保存会



第30回長洲有明ライオンズクラブ

小学生サッカー大会

長洲有明ライオンズクラブ（木下紳会長）は「第30回長洲有明ライオンズクラブ小学生サッカー大会」を開催しました。

なお、結果は次のとおりです。

- U7 優 勝：中友FC（大牟田市）
準優勝：アム・ソウル（甲佐町）
- U8 優 勝：wings熊本（菊池郡市）
準優勝：中友FC（大牟田市）
- U9 優 勝：F.J 腹赤（長洲町）
準優勝：荒尾JFC（荒尾市）
- U10 優 勝：wings熊本（合志市）
準優勝：FCノルド熊本（熊本市）
第3位：小川JFC（宇城市）



▲ボールを奪い合う選手たち

12/23

常時監視システムを導入！

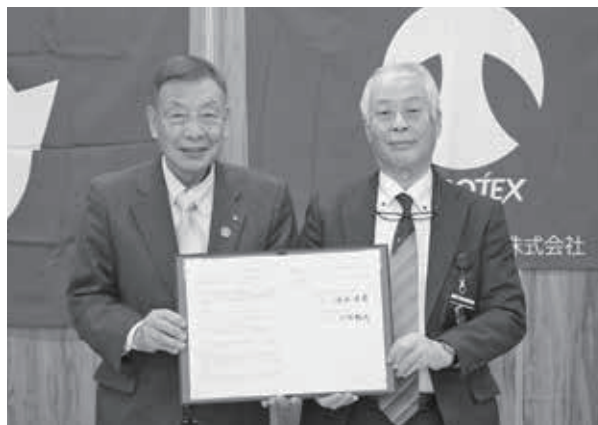
トライボテックスと包括連携協定結ぶ

町は、機械の潤滑油検査事業を行うトライボテックス（川畑雅彦社長）と包括連携協定を結び、農業用排水機場などに同社のオンラインで潤滑油の状態を監視できるシステムを世界で初めて導入します。

このシステムにより、潤滑油の状態を常時監視し、施設の維持管理を効果的に行うことが可能になり、故障の未然防止やコスト削減が期待されます。

川畑社長は「この技術が長洲町を最初の発信地として全国に広がっていくと信じている」と話しました。

町で得られたデータは国や県への補助事業創設要望に活用されます。



▲協定書を手にする川畑社長（右）

12/26

青少年の育成のために

肥後長洲椿会が長洲中学校に寄贈

肥後長洲椿会（本田秀二会長）は、長洲中学校（松井明校長）に充電式チェーンソーや替刃など一式を寄贈しました。

この活動は、毎年各小中学校から要望を聞き取り、備品を寄贈するもので、約10年続いています。

本田会長は「中学校が統合されて長洲中学校となり新しくなったので新しい学校の環境づくりに役立ててもらいたい」と話し、松井校長は「駐車スペースなどの樹木伐採に活用したい」と話しました。



▲町役場を訪れた肥後長洲椿会の皆さん

12/27

ボーイスカウト長洲第1団がミニ門松を寄贈

日本ボーイスカウト熊本県連盟長洲第1団（入口秀記団委員長）は町役場を訪れ、町・町議会・町教育委員会に手作りのミニ門松を贈呈しました。

この取り組みは毎年行われており、今回で11年目を迎えます。また、本年度は発団60周年の節目でもあります。

ミニ門松を受け取った中逸町長は、「毎年ありがとうございます。ボーイスカウトでは多くの貴重な経験を積むことができると思います。身に付けたことを生かして、さまざまな活動で頑張ってください」と感謝の言葉を述べました。



▲ミニ門松を寄贈したボーイスカウトの皆さん

12/27

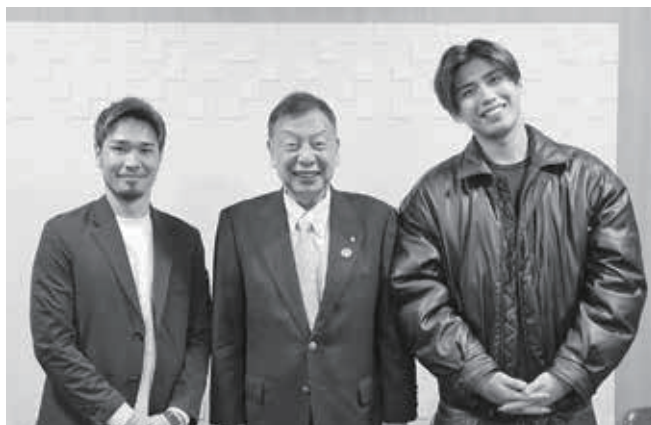
2024年シーズンの活躍を振り返り 新たなシーズンに向けて一。

Jリーグで活躍している町内出身の池上丈二選手（建浜区出身）と酒井崇一選手（下東区出身）が、町役場を表敬訪問しました。

2024年シーズンは、池上選手20試合、酒井選手22試合に出場し、シーズンを終了しました。

また、池上選手は契約を更新し「レノファ山口（J2）」で、酒井選手は新天地「カタレ富山（J2昇格）」で新しいシーズンを迎えることとなります。

池上選手は「ケガをしないような体づくりをしたい」と、酒井選手は「新天地では新しい風を吹かせられるように頑張りたい」と話しました。



▲町役場を訪れた池上選手（左）と酒井選手（右）

1/3

長洲きんぎょ村で初の連携イベント 『お正月金魚即売会』が大盛況！！

「お正月金魚即売会」が、長洲きんぎょ村（金魚と鯉の郷広場奥）で開催されました。

今回、多くの人に金魚を身近に感じてもらうために、令和5年から施設を管理している（有）アクアランド徳永（徳永久志代表取締役）と町養魚組合、町商工会、町が連携して初めて実施したものです。

この日は、金魚の即売や金魚すくい、キッチンカーでのクレープなどの販売があり、県内だけでなく県外からもご来場いただき、約1,000人が訪れました。

今後も長洲きんぎょ村から長洲金魚に関する情報を発信していきます。



▲金魚即売会の様子

1/9

落札額に歓声上がる！ 長洲観賞競売場の初競り

長洲観賞競売場（福永誠二代表）は、金魚とコイの初競りを開催しました。

この日は約1万匹の金魚とコイが出品され、養殖業者や愛好家など約60人が集まりました。屋内の水路でケースに入って流れる金魚とコイを競り合う様子が見られ、活気に満ちた雰囲気が漂いました。

また、長洲小学校3年生の児童が総合学習の一環として会場を見学し、「きれいな金魚がいっぱいで、すごく素敵だなと思いました」と感想を述べました。児童たちは普段見ることのない競りの様子に興味津々で、貴重な体験を楽しんでいました。



▲競りで落札していく参加者たちと競りに興味津々の長洲小児童たち

1/16

性暴力について考える 思春期教室開催

はぐくみ館では、正しい性の理解や判断力を身につけることを目的とし、長洲中2年生を対象とした思春期教室を開催しました。

当日は、九州看護福祉大学の先生2人を講師としてお招きし、「性暴力から自分を守る」をテーマに、ワークショップ形式で行いました。

生徒からは「トラブルに巻き込まれないようにしっかり考えて行動したい」「SNSがつくる人間関係とSNSの利用について改めて気付けたい」などの感想が聞かれました。



▲講師の話を聞く生徒たち

1/19

四王子神社での初ガイド！ 長洲小の児童が伝える祭りの魅力

長洲小学校（坂本和也校長）は、「破魔弓祭（的ばかり）」が行われた四王子神社で、訪れた人々に祭りの起源や見どころを紹介するボランティアガイドを実施しました。

これは、地域と保護者、学校が連携するコミュニティスクール活動の一環で、今回が初めての実施となります。

この日は、小学校2年生から5年生の有志15人が集まり、2～3人のグループで境内を巡り、祭りについて書かれたチラシを手渡ししながら、的ばかりについての解説を行いました。

参加した児童からは「的ばかりを見ることができ、また教えることもできたので、とても嬉しかったです」などの感想が聞かれました。



▲的ばかりについて説明する児童たち

12/16・1/23

5年ぶりに開催！ 手すき海苔体験教室

長洲・牛水地域干潟保全会（上田浩次代表）は、長洲小学校（坂本和也校長）と清里小学校（一瀬一郎校長）で手すき海苔体験教室を開催しました。これは、水産生物の管理や干潟保全の取り組み、町の伝統産業である海苔養殖業を子どもたちに知ってもらうために開催されたものです。

今回、5年ぶりに開催され、長洲小学校の5年生と清里小学校の3、4年生が参加しました。児童からは「海苔の手すきは難しかったけど、アドバイスをもらって上手にできて嬉しかった」などの感想が聞かれました。



▲保全会の人と一緒に海苔の手すきを体験する児童